

働き方改革

健康

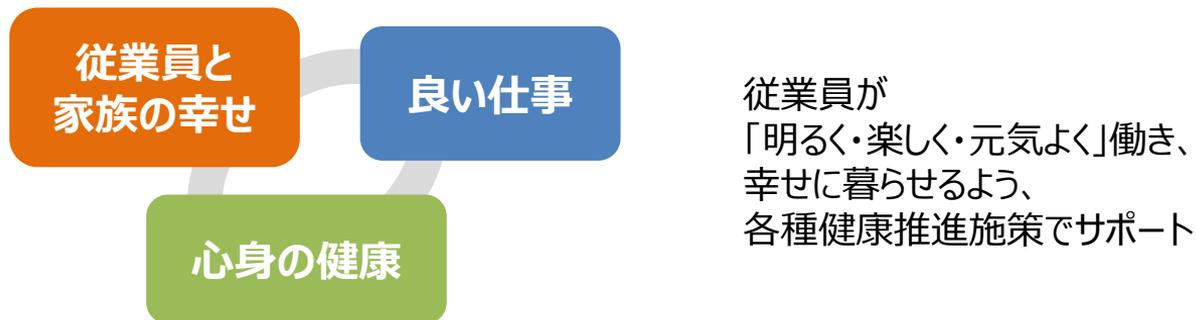
福利厚生

もっと成長を、安心を、
人とのつながりを。

三つの機能が働くことをサポートします。



健康宣言： 従業員の健康第一

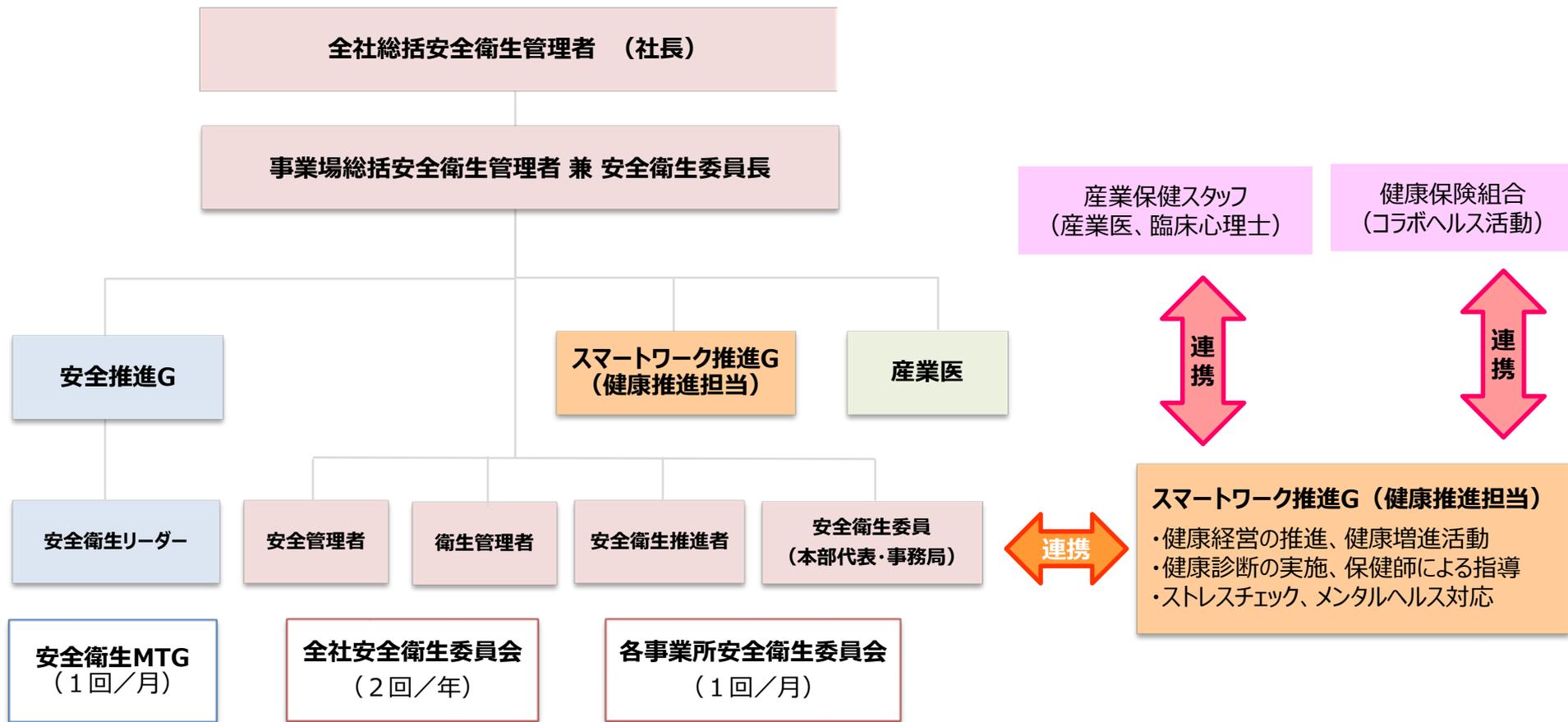


健康経営推進

【目的】 従業員の健康への投資により、従業員が誇りとやりがいを持って仕事に取り組むことで会社の長期安定的な成長を実現

【体制】 ・社長（全社総括安全衛生管理者）が中心となり、各拠点の委員会メンバーと共に安全衛生活動を実施
・健康課題や施策等について経営で議論し、健康経営を推進

安全推進体制図



方針	健康づくりに主体的に取り組む従業員の増加
目標	80%（2019年度：60% → 2020年度65%）
内容	<ul style="list-style-type: none">・従業員の健康課題を把握：健康に関する意識調査を毎年実施 →課題は経営会議・産業医・組合に共有し、施策を策定・効果検証・ヘルスリテラシー（※）の向上：様々な情報提供 ※必要な健康・医療情報を手に入れ、理解し、効果的に利用する能力・ゼロ次予防の推進：未然防止の大切さについて啓蒙活動・健康に興味・関心を持つきっかけを提供： 四半期ごとにテーマを決めて活動



◆ 健康診断結果に基づくフォローアップ



健康診断の結果を産業医が判定し、産業医・保健師が有所見者への受診勧奨や治療状況の確認を実施

◆ 健診ポータル導入：経年で健康診断結果を確認でき、健康意識を高める

各個人の結果に基づき、保健師から改善に向けた指導・アドバイスを実施

◆ 再検査受診の徹底

産業医指示による再検査項目は、業務時間内・会社負担で受診

◆ 健康指導面談（全年齢対象）

生活習慣の改善及び予防を目的とし、対象者を選定し、保健師による面談を実施





課題

- ・入社前健診有所見率の増加
- ・休日の電子機器利用の長時間化

目標

19年度新卒有所見▲10P

取り組み

- ・新入社員研修
保健師による生活習慣改善指導
- ・ヘルスリテラシー（HL）向上面談
心身の健康増進、VDT症候群の防止を図ることを目的とし、入社3か月後より保健師が全員と個別面談を実施

効果

- ・2020年度新卒有所見率：2019年度より▲7P
- ・電子機器の長時間利用者：2019年度より▲4P



課題

身体活動が不十分（健康保険組合平均を3割下回る）

目標

1日8,000歩以上の歩行

取り組み

・ウォーキングイベント

日常の習慣である「歩く」を入り口に、社員の健康増進を目指し、全社員を対象にスマホアプリを利用したウォーキングイベントを実施

・活動評価：アプリ内で「病気・疾患毎の予防目標達成度」を視える化
歩数やポイントをランキングをするだけでなく、活動の量と質を採点

効果

平均歩数（2019年11月）：7,978歩





課題

眼の症状（不調）を自覚している社員：63%（2019年度）

目標

自覚症状の軽減、作業性・安全性向上

取り組み

眼の健康診断（トータルアイ検査）を利用 ※全額会社負担

- ・適切な作業姿勢、作業距離を知り、実践する
→眼精疲労、体調不良（頭痛等）、筋骨格系症状を予防、改善
- ・多角的な検査による眼鏡等の調整不良改善のきっかけづくり
→作業性低下の改善
より安全な歩行・運転（転倒予防、交通安全対策）





開催年	内 容	参加人数 (概数)	実施後のアンケート結果
2016 ~18	日常動作運動、体成分測定 ※ストレッチ、脳活性化プログラム	250	今後も実践したい・ 健康づくりのきっかけになった：99%
2018	カラダの歪み測定 & 運動セミナー	100	今後に活かせる：95%
	歩行測定 & 運動セミナー	90	今後に活かせる：94%
	肩こり・VDT症候群予防のための測定 & 運動セミナー	60	今後に活かせる：100%
	血管年齢測定と骨密度測定	100	満足度：74%
2019	RIZAP健康セミナー（集団向け）	210	生活習慣を振り返るきっかけになった：97%
	RIZAP3ヵ月出張型プログラム（少人数向け）	15	健康管理について意識が変わった：100%
	ウォーキングセミナー	70	今後も実践したい・ 健康づくりのきっかけになった：100%



(1)健康診断



◆ 定期健康診断

【目標：受診率100%】 → 4年連続（2016～2019年）達成！

◆ 35歳以上の従業員

法定項目以上に詳細な検査項目（人間ドック等）を個人負担なしで実施

◆ 女性従業員

婦人科検診(乳がん・子宮がん)を毎年無料で受診



◆ 男性従業員（55歳以上）

前立腺がん検査を毎年無料で受診

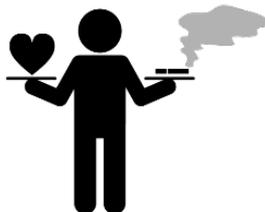
※健康保険組合との共同実施（コラボヘルス）



(2) 禁煙の推進

目的	働く人のために : 予防できる病気の原因であるタバコから健康を守る
	お客様のために : 健康な環境で働く人による高品質なサービスの提供
	社会のために : タバコの煙のない健康な社会づくりへの貢献
ルール	出社から退社まで、 就業時間内禁煙

◆ 喫煙率
25.6% (2010年)
↓
14.2% (2020年)



(3)感染症対策、その他の取り組み

◆ **インフルエンザ予防接種を事業所内で実施（自己負担なし）**

※事業所内で働く他社の社員も接種可能

【目標：接種率90%】 → 2019年度：88%



◆ **まん延防止**

マスク・アルコール消毒液を設置、発症時の対応ルール規定

◆ **全社員への情報発信**

産業保健スタッフ等から全社員に対し、社内イントラネット・社内報・メールで情報発信

◆ **朝型勤務推奨**

集中力の高い朝、効率的に仕事をして残業抑制
※早朝出勤者に対し、朝食の無料提供等を実施





(1) メンタルヘルス対策の全体像

予防

- ・メンタルヘルス研修：セルフケア・ラインケア・キャリア研修 など
- ・ストレスチェック実施：法定実施＋随時イントラネットでの実施可能
- ・ラインサポーター制度：各職場にLS（職場相談員）を配置
- ・社内外相談窓口：心理士・保健師・キャリアコンサルタントが対応

早期発見

- ・多残業面談の実施：法定基準より厳しく実施
- ・ストレスチェック集団分析の活用：職場インタビューなど実施
- ・管理者からの「気づき報告」の実施

早期回復・再発防止

- ・社内リハビリの運用
- ・社外リワークとの連携
- ・休務中の産業医面談の実施、主治医との連携
- ・社内カウンセリングの活用：臨床心理士による再発防止面談

(2) 予防の強化

◆ メンタルヘルス研修

- ・ e-ラーニング（自己学習）
- ・ 講義・ワーク式の研修を実施
- ・ セルフケア・ラインケア・キャリア研修など
受講者がテーマを選択可

◆ ラインサポーター（LS）

- ・ 各本部のラインサポーター（職場相談員）が面談を実施
 - ・ 職場環境・業務内容・人間関係を知ってるラインサポーターだからこそ、具体的な相談が可能
- 2019年度 面談実施者アンケート「話を聞いてもらえた」 97%

実施年度	抜粋) ラインケア研修（テーマ）
2018年度	統合などのトランジションを乗り越える方法
2019年度	ストレスチェックの組織運営への活かし方
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ラインケアの基礎の基礎 ・リモートワークでのコミュニケーション活性化



(3) ストレスチェックの活用

◆ セルフケア

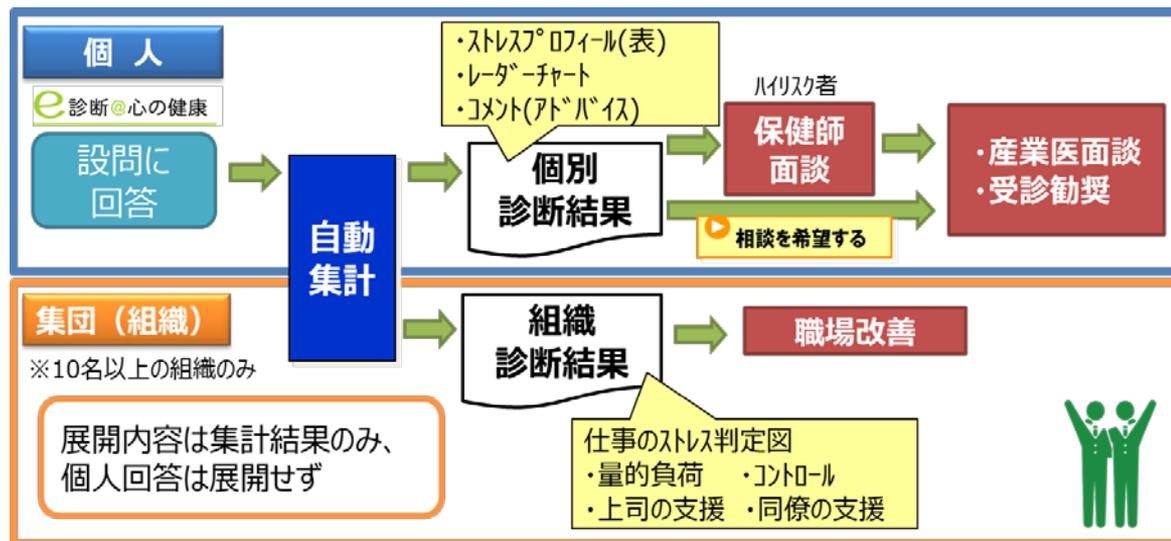
- 自分のストレスに気づくためのツールを導入：いつでも利用可能
→定期的な実施により、いつもと違う変化に気づく

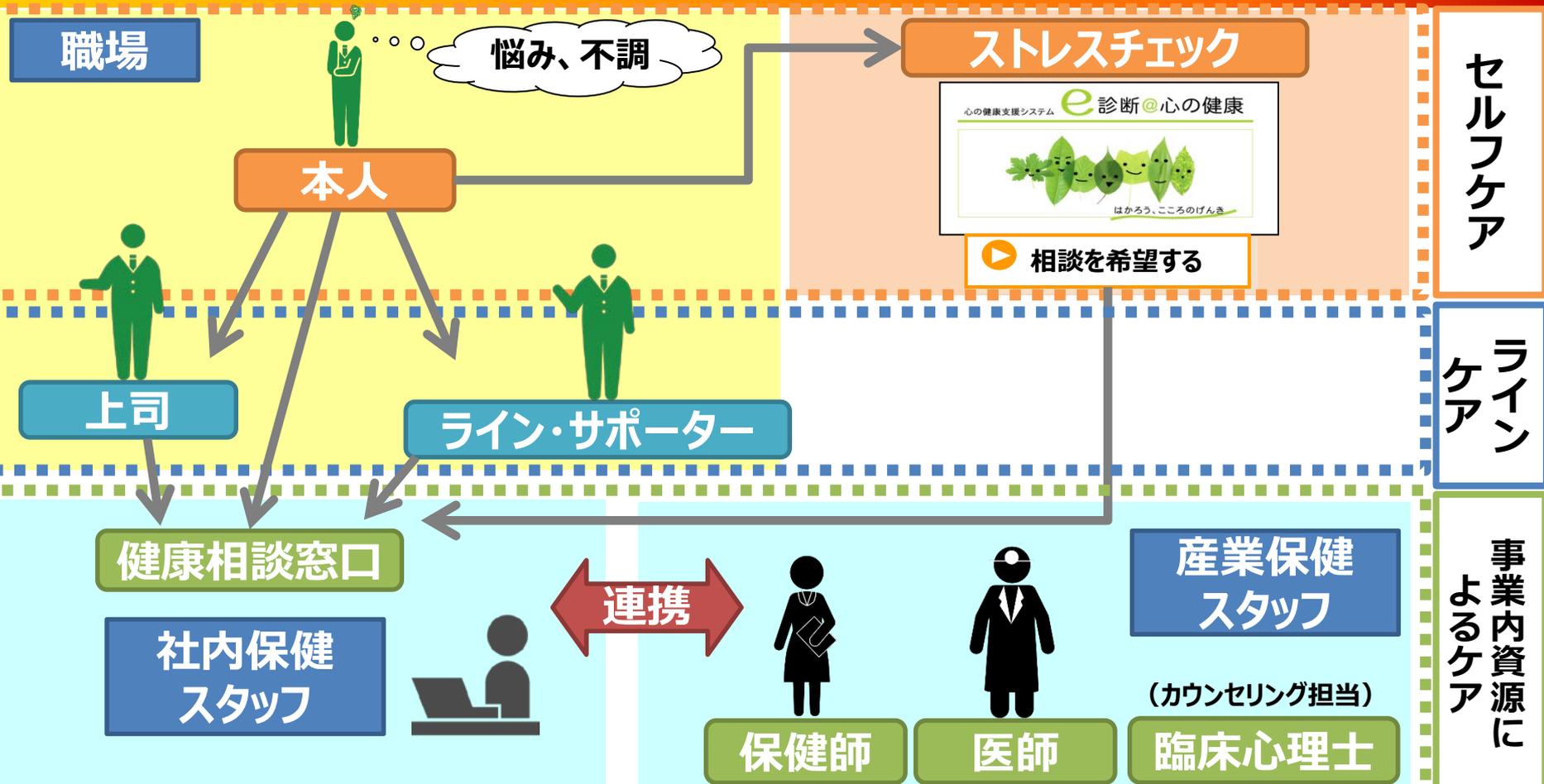


- 年1回 全社一斉実施
受検率：97.7%
(2019・2020年度)
- 産業保健スタッフへの相談も随時申込み可能

◆ 集団への働きかけ

- ハイリスク職場・働きがいの高い職場へのインタビュー実施







「健康経営優良法人2020（ホワイト500）」に認定

健康維持・増進の様々な取組みが評価され、経済産業省および日本健康会議が策定している『健康経営優良法人 2020（ホワイト500）』に認定されました。



スポーツ庁「令和元年度スポーツエールカンパニー」に認定

スポーツや健康に関する取組が評価され、認定企業531社の中の一企業として認定されました。



健康保険組合の機関紙に取り組みが紹介されました。
※けんぽインフォメーション2020春号





オフィスでつくる
みんなの健康!
会社紹介

株式会社トヨタシステムズ

【社概要】 名古屋市中村区名駅1-1-1 JPタワー名古屋32F
052-747-7111
■代表取締役社長/北沢 宏明 ■設立/2019年1月
■従業員数/約2,800名(派遣社員含む)

株式会社トヨタシステムズは、2019年1月にトヨタコミュニケーションシステム、トヨタデジタルクルーズ、トヨタケラムの3社が統合し誕生したIT企業。3社で担っていた従来の業務に加え、トヨタグループが描くモビリティサービスを構築するためのシステムや、それを実現するための開発・生産・販売などの仕組みをつくり、グループのグローバルなIT戦略をサポート。会社誕生と同時に名古屋本社も新設され、見た目も使い勝手も斬新なオフィスは、業界の内外から注目されています。



うらやましいと思われる、会社づくりを!



心身ともに健康が一番!
駅伝のようにペース配分を
考えて走ろう!

代表取締役社長
北沢 宏明さん

トヨタシステムズは、トヨタGをITで支える企業です。オフィスで働く社員に加え工場など現場での仕事も多く、工場と同じレベルで健康や安全に対する意識を持ち、「100点をめざし、努力する」ことが重要ですね。それを実現するには、「心身ともに健康であることの重要性」を「常に」言い続けることだと考えています。小さいことの積み重ねかもしれません。

昨日、ちょうど昇格の内示をしたのですが、皆さんのモチベーション

は高く、やる気満々でした。嬉しいことです。しかし仕事は短距離走ではありません。山も谷もあります。駅伝のようにペース配分を考えながら走り、先輩から継承された仕事や文化を後輩へと託していかなければなりません。

私はこれまでの社歴の中で、体調を崩して戦線を離脱する人を多く見てきました。そして残念なことに、朋友を一人亡くしています。こうした経験を通じて、心身の健康がいかに重要かを身をもって感じています。だからこそ、トヨタシステムズの社員には心身ともに健康である大切さを伝えていきたいですね。

それにね、社長の仕事はただ一つだと思うんです。ブレのない考えで、会社がワンチームになるよう旗を振ること。そして何より、トヨタシステムズが外から見て「あの会社で働いて、うらやましいな」と思える会社になりたい、そう思って努力しています。

自分自身の健康については極めて月並みで、積極的に歩くことくらいでしょうか。スキーは学生時代からやっています。機会を見つけて身体を動かすようにしていますが、「忙しい」は言い訳にしないようにしたいな。「時間ができたら」なんて言っている、時間は生まれませんからね(笑)。

入社直後から、
「自分の健康」に関心を!!
ヘルスリテラシー(HL)向上面談
新規入社者を対象に、入社3カ月後から順次面談を実施。健康づくりを「自らの力」でできるように支援するのが目的。個人の趣味や嗜好などまでヒアリングしながら、健康推進を指導!

「RIZAP」トレーナーが来社!
「興味を健康のきっかけに!!」
出張健康教室
パーソナルトレーニングで知られる「RIZAP」からトレーナーを招き、健康セミナーを開催。この講座への注目度は高く参加者も多数。健康づくりのきっかけに成功しました。このほかウォーキングセミナーなど、興味のわくセミナーやイベントを開催しています。



本社開催のイベントには、遠方から参加する人も! なんと参加無料。

「やらされ感」を
ナシに!
自分に合った健康法で
楽しく健康推進!
健康課題やどんなことに興味を持つかは人それぞれ。何か一つでも心に残り主体的な健康づくりができるよう、健康に関するアンケートの結果をもとに様々な健康施策を行っています。

部長 鈴木 宏幸さん
健康推進をはじめ、動きやすい環境や体制づくりに力を入れています。専任がいるからこそできる、自社ならではの展開をさらに進めていきたいですね。

職場の悩みを不安なく
打ち明けられる!!
ラインサポーター制度の活用
ラインサポーターとは「職場相談員」として業務や職場の悩みを聴く役割。各本部の社員から選任され、業務内容や職場の人間関係がある程度分かった上で相談に乗れることが特長です。サポーターは専門研修を受け、社員との面談を行っています。

優秀者にはギフトカードを!
「やる気を促す、お楽しみも付加!!」
ウォーキングイベント
スマートウォッチやスマホを使った、ウォーキングイベントを開催。1カ月間の歩数でランキングを競い、上位者にはギフトカードがプレゼントされました。アプリの利用で、ウォーキング効果を見える化したのもポイント。



安全健康推進部 健康推進Gのみなさん

主任 大田 由佳さん(公認心理師)
個人と組織など、それぞれの「間」に入って、どちらのメリットにもなる動きができれば!

主任 山口 智子さん(保健師)
楽しく健康推進ができる、「しかけづくり」をたくさんしていきたいですね!

社長自らが
「働き方改革宣言」。
全社で活動展開中!
働き方改革推進室 室長
江口 博子さん
「弊社では、社長自らが働き方改革の宣言を行い、全部署と連携をとりながら改革に取り組む、さまざまな施策にチャレンジしています。「働きやすさ」や「やりがい」を高めながら、しっかりと「生産性向上」にもつなげ、双方が幸せになれる環境をさらに模索していきます。」
「気づき」につなげる
トライアル。
継続する社員も多数

朝方勤務キャンペーン
集中力の高い朝時間を活用し、深夜残業時間も少なくするためのキャンペーンを実施。期間中は朝食やプリペイドカードなどのインセンティブも用意。「やってみたら意外に良い!」と気づく社員も多いそう。

マンガにして
目的をわかりやすく
段取り×時間
上手に働くためのヒントをマンガにして社員に配布。主人公が段取りの重要性や仕事の進め方に気づく過程は社員の共感を生んでいる。

我が社、ここが自慢です!

社長をはじめ社内全体で、健康推進や働き方改革に対する「本気度」が違うと感じます。それが伝わってくるので、皆もやる気に!!

健康イベントなどを通じて、あらゆる部署の人と知り合えるのは良いこと! 普段話せない方とのコミュニケーションも広がります。

ワークライフバランスはいいですね。ノーマル残業では、早く帰って家族サービス。サークルも多く活気がありますよ!

健康イベントがたくさんありますし、参加して賞品がいただけるものもあって(笑) やる気が出ます! 楽しんでできるのが一番!

営業推進部 部長 伊藤 和宏さん
営業推進部 主任 村田 郁美さん
総務部 福岡 貴弘さん
調達・業務部 内田 萌香さん
調達・業務部 池内 由帆さん

ここに注目! 安全・健康推進の専門部署を設置。独自視点で、働きやすさを実現!

2019年1月に誕生したばかりの株式会社トヨタシステムズでは、3社が統合前から行っていた健康推進をより進化させ、3000人近い従業員の健康管理を進めています。その中でも同社の特長となっているのが、独立した「安全健康推進部」をもつこと。16人で編成されたこの部署には、保健師や公認心理師の資格をもつ社員も在籍し、専門性の高い視点で取り組みを展開しています。

また「働き方改革推進室」も積極的に活動し、社員と会社の双方の幸せ実現に向けて、さまざまな取り組みに挑戦中です。



コンセプトは「都会の公園」!
名古屋本社オフィスには、アイデアいっぱい!

①開放感あふれる緑化オフィスには、大きな木を囲むツリー席や石畳風の床などの工夫が。
②一部フリーアドレスを採用したデスク、目的別机(集中席、立ち会議机など)の設置
その他、社内の最新情報を閲覧できるサイネージなど随所に工夫が!



健康経営優良法人2020
(ホワイト500)に認定!

●手土産● 菓匠 花桔梗
400年前、尾張藩主御用菓子店として任ぜられた桔梗屋の流れを汲む和菓子店であり、伝統を守りながらも斬新な和菓子を作られることで有名なこちらの和菓子店は、社長の客先訪問の際のとおきの手土産のひとつです。
JR名古屋タカシマヤ、名古屋三越栄店にも店舗があります。宝石店や美術館のような雰囲気漂わせる本店に足を運べば特別な空間で生菓子とお抹茶を愉しむこともできます。
本店外観▶
■愛知県名古屋瑞穂区汐路町1-20 ■TEL:052-841-1150 ■営業時間:10時~19時